

## シラバス（授業計画）

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
会計情報学特論	1・2年生	選択	2単位	山下 壽文
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>到達目標：会計情報作成・開示に関する理論的・制度論的知識の習得            テーマ：現代会計基準に関する主要論点の研究</p>				
<p>授業の概要</p> <p>現代経済社会を生きる私たちにとって、会計知識の習得は必須の要件となっている。この講義では、会計制度の変化と会計情報の新しい特徴を正確に理解し、企業の会計政策の決定と会計情報の分析とを行う能力を養うための専門知識を身に付けることを目的として、会計基準および概念フレームワークの主要な論点について体系的に説明し、討論する。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第1回 会計を取り巻く環境と会計情報の意義・役割</p> <p>第2回 概念フレームワーク：収益費用アプローチと資産負債アプローチ、公正価値</p> <p>第3回 会計公準・企業会計原則・会社法会計・金融商品取引法会計・税務会計</p> <p>第4回 流動資産（1）現金・金銭債権</p> <p>第5回 流動資産（2）有価証券・棚卸資産</p> <p>第6回 有形固定資産・圧縮記帳・無形固定資産・繰延資産</p> <p>第7回 固定資産の減損</p> <p>第8回 リース（1）ファイナンス・リース取引とオペレーション・リース取引</p> <p>第9回 リース（2）セール・アンド・リースバック取引</p> <p>第10回 負債（1）資産除去債務</p> <p>第11回 負債（2）社債</p> <p>第12回 負債（3）退職給付</p> <p>第13回 キャッシュ・フロー計算書（1）直接法と間接法による作成</p> <p>第14回 キャッシュ・フロー計算書（2）作成演習</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>第16回 定期試験</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）</p> <p>（留意点） 簿記・会計に関する基本的な知識を有していること。</p> <p>（事前学習） 受講者全員が次回の学習領域について事前にテキストを読み、疑問点や質問事項等を整理した上で講義に参加すること。 (2時間程度)</p> <p>（事後学習） 講義中に理解したことをまとめ、疑問点や質問事項等が解決したかどうかを確認すること。その後、授業内容を再検討し、理解を深める必要がある。 (2時間程度)</p>				
<p>テキスト</p> <p>林 兵磨『財務会計論講義』創成社</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料など</p> <p>中央経済社編『新版会計法規集』中央経済社</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>定期試験果（60%）、レポート(20%)、討議への参加状況(20%)を総合的に判断して評価します。</p>				